デジタル 教科書 【小·理科】

資料提示機能、書き込み機能

小学校 第5学年 理科 「わたしたちのくらしと災害」

- (1) ねらい 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、これまでに学習したことも生かしながら、災害に 備えることの重要性を考えることができる。
- 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、これまでに学習したことも生かしながら、災害に (2)評価規準 備えることの重要性を考えている。(思考・判断・表現)
- (3) 学羽母問

(3)字習展開 (1/2)			
	過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
	導入	I 課題提示 台風では、どのような危険が予想されるだろうか。	
		2 危険を予想する。・ 個人の予想をロイロノートのテキストカードに入力し、提出箱に 提出する。	テキストのフォーマットを統一し、 一覧した時に分かりやすいようにする。

台風では、どのような危険が予想 🕙 🗤 🤣 🐠 🌓

- ・ 山が暴風で土砂崩れする危険性がある。
- 風で川が溢れ、洪水になってしまう。 • 建物の窓、ガラスが風によって割れたり、建物
- が崩れるかもしれない。
- 木が風で倒れて来るかもしれない。
- 暴風で、信号機が倒れたり、折れたりするかも しれない。
- 道路が暴風で壊れる、崩れるひびが入るかもし

台風では、どのような危険が予想されるだろうか

- ・ 窓ガラスが強い風で割れる
- 信号が強い風でかたむく
- ・大雨で川の水が溢れたり、堤防が切れたりして洪 水が起きる
- ・大雨で、土砂崩れが起きる
- 大雨であふれた川の水が流れ込んで地下鉄に水が 入る
- 強い風で木が倒れる
- 道路が強い風で壊れたり崩れたりする
- 高いところに看板があると強い風で倒れてくるか もしれない

ペアで交流した後、さらに意見を追記する。

- 提出箱に出された意見を提示しながら、全体で交流する。
- 3 具体的な危険箇所を検討する。
- デジタル教科書の資料を用い、具体的な危険箇所をマークする。





・ ロイロノートを用いて資料を提出し、その理由とともに全体で交 流する。

4 まとめ

交流した意見を基に私たちが住んでいる地域に台風が近づいた 時、どのような危険があり、災害が起きるかを想定し、テキストに 記述する。

【ICT 活用の工夫】

- 自分で意見を書くことが難しい 児童は提出箱を閲覧し、仲間の意 見を参考にして予想を書く。
- 台風による強風で倒れた鉄塔や、大 雨で氾濫した河川の写真を提示しな がら、児童が具体的な危険を想起でき るようにする。

【ICT 活用の工夫】

- マーキングの機能を用い、自身の デジタル教科書に直接書き込む。
- ・ 特に全体で検討したい箇所や内容 については、スクリーンに提示し、直 接ポインターで示しながら児童が説 明するようにする。
- ・ 低地であるという地域の特色を踏 まえ、過去の事例等を紹介しながら地 域に起こりうる災害を予想するよう 促す。
- 早く書けた児童に対しては、どんな 対策をとるとよいかを考えるよう促 す。